

<現金過不足に関する一連の仕訳をしなさい>

注) すべての会社は4月1日～3月31日の1年間を会計期間とする。

① 6月のある日、現金の^{じっさいありだか}実際有高を^{しら}調べたところ、600円しかなかった。^{ちょうぼ}帳簿には、700円って書いてあるのに・・・

(借)

(貸)

② 7月のある日、①の過不足のうち、20円は電気代の^も記入漏れ、10円は電車代の記入漏れであると^{はんめい}判明した。

(借)

(貸)

③ 3月31日になっても、のこりの過不足は原因がわからなかったなので、実際残高にあわせる仕訳処理をした。

(借)

(貸)

**<①から⑦の仕訳を作成した上で、残高試算表を作成し
なさい。その後、精算表を^{かんせい}完成させなさい。>**

<仕訳帳>

① スーパーの会社をはじめるために、株主^{かぶぬし}から 100,000 円の出資^{しゅっし}を受け、普通預金に預け入れた。

(借) (貸)

② スーパーで販売するために、農家^{のうか}からきゅうりを 1,500 円で仕入れ、代金は口座引き落としで支払った。

(借) (貸)

③ ②で仕入れたきゅうりを、C商店^{しょうてん}に 5,000 円で販売し、代金はC商店振り出しの小切手を受け取った。

(借) (貸)

④ スーパーの休憩^{きゅうけい}スペースで使っていた備品 1,500 円が火災で消失した。(借) (貸)

⑤ 現金 300 円が盗難にあった。

(借)

(貸)

⑥ 銀行から 10,000 円を借り入れて、当座預金に預け入れた。

(借)

(貸)

⑦ スーパーの水道代 1,000 円を小切手を振り出して支払った。

(借)

(貸)

<試算表>

残高試算表

借方 (円)	勘定科目	貸方 (円)
	現金	
	普通預金	
	当座預金	
	備品	
	買掛金	
	借入金	
	資本金	
	売上	
	仕入	
	水道光熱費	
	()	
	()	
	合計	

<精算表>

残高試算表			損益計算書		貸借対照表	
勘定科目	借方 (円)	貸方 (円)	借方 (円)	貸方 (円)	借方 (円)	貸方 (円)
現金						
普通預金						
当座預金						
備品						
買掛金						
借入金						
資本金						
売上						
仕入						
水道光熱費						
()						
()						
当期 ()						
合計						